

平成 19 年 3 月 28 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連の一部に改善の兆しが窺えるものの、生産活動や投資関連は一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠いており、全体では足踏みが続いている。

生産活動は、電子部品が弱含み、飲食料品も伸び悩んでいる。個人消費関連は、百貨店・スーパー売上げや新車販売が盛り上がりを欠く。投資関連では、民間建築工事、住宅着工、公共工事ともに前年を下回った。一方、観光入り込み客数は 2 か月連続で前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産がやや弱含んでおり、カラーLCD（液晶ディスプレイ）や PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）も国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

2 月の**生コン**生産は、3 か月連続で前年を上回った。

2 月の**紙パルプ**生産は、前年比 3.8%増となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

2 月の**大島紬**生産反数は、前年比 16.8%減となり、減反基調に変化は窺えない。

焼酎は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

かつお節関係は、原料かつおの浜値が高止まりするなか、生産は引き続き抑制基調にある。

【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が弱持ち合いで推移する一方、子牛価格は弱含みながらも依然高値で推移している。豚肉およびブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給量の増加から弱含んでいる。

【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

1月の百貨店売上げは、暖冬の影響で衣料品の動きが鈍く、4.4%減と10か月連続で前年を下回った。一方、1月のスーパー売上げは、1.0%減と4か月連続で前年を下回った。2月の大型小売店販売も、暖冬や百貨店のリニューアル工事による売場縮小の影響で盛り上がりを欠いた。

2月の乗用車新車販売台数は、17.6%減と13か月連続で前年を下回った。車種別にみても、普通車、小型車ともに12.1%、20.1%の各減となった。一方、軽自動車は2.9%増と4か月連続で前年を上回り、好調に推移した。

2月の家電卸売上げは、地上デジタル放送対応の薄型テレビや洗濯乾燥機の販売が伸び、7か月連続で前年を上回った。

【観光関連】 ... 一部で改善

2月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比1.3%増と2か月連続で前年を上回った。地区別にみると、鹿児島、指宿地区はマイナスとなったものの、霧島地区の増加が寄与した。また、種子島・屋久島地区は、4か月ぶりに前年を上回った。この間の主要観光施設入場者数も、一部を除き前年を上回った。

【投資関連】 ... 一進一退

2月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。一方、民間建築工事も棟数、床面積、工事費ともに前年割れとなっている。

1月の新設住宅着工戸数は、前年比14.4%減と5か月ぶりに前年を下回った。利用関係

別では、分譲は 43.6%増だったものの、持家が 3.9%、貸家が 17.3%の各減となった。

2月の**主要建設資材**卸売業者の売上げは、4か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出が3か月ぶりに増加

1月の**輸出額**は、液晶表示板等の科学光学機器が 12.2%減、タイヤ・チューブが 32.4%減となったものの、半導体等電子部品が 10.4%増となったことから、全体では 8.0%増となった。また、**輸入**は穀物及び同調整品が 74.6%増となったものの、原油及び粗油が 10.3%減となったことから全体では 7.1%減となった。

【雇用情勢】... 改善一服

1月の有効求人倍率は 0.61 倍にとどまり、雇用情勢の改善には一服感がみられる。

【金融情勢】... 堅調

資金需要は、住宅ローンが堅調に推移している他、企業の設備資金にも底入れ感が窺える。

【企業倒産】... 負債額が大幅増

2月の**企業倒産**は、件数は 10 件と前年同月（8 件）を上回り、負債額は大型倒産の発生により 51 億 1,000 万円と前年同月（10 億 2,000 万円）を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

（株）鹿兒島地域経済研究所（ 099-225-7491 ）